



【Press Release】

報道関係者各位

2021 年 1 月 28 日

株式会社ティーケーピー

(東証マザーズ:証券コード 3479)

オフィスワーカーのテレワーク導入率は 52.7%、

内、サテライトオフィスの導入率は 22.0%

サテライトオフィス勤務は働き方の満足度を高くする傾向が明らかに

「新しい働き方」を考える今、第 3 のワークプレイス整備はより重要に

株式会社ティーケーピー(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:河野貴輝)の 100%子会社でレンタルオフィス、コワーキングスペースを提供するシェアオフィス運営会社、日本リージャスホールディングス株式会社(代表:西岡真吾、以下リージャス)は、首都圏・近畿圏・中部圏在住の多様な業界・業種に携わるオフィスワーカー5,000 名を対象に「テレワーク社会におけるワークスペース別の生産性や満足度、抱える課題や要望に関する調査」を 2020 年 12 月に実施しました。

本調査の結果から、テレワークのワークプレイスとしてサテライトオフィスが働き方の満足度を高くする傾向があることが判明いたしました。調査結果の要約は次の通りです。

調査結果の要約



テレワークの普及率は52.7%で
主な働き方は在宅勤務、
サテライトオフィス導入率は22.0%

テレワークは普及しているが、
メインオフィスへの出社が
スタンダードな働き方である

テレワークのほうがメインオフィスよりも
生産性が高いと感じられている

在宅勤務を生産性が高いと感じた:33.6%、
サテライトオフィスを生産性が高いと感じた:41.1%

サテライトオフィス勤務と在宅勤務では
生産性は同程度と感じられている

より生産性が高くなると感じた
サテライトオフィス:38.1%、在宅:36.7%

49.8%が在宅勤務の課題を
サテライトオフィスで
解決できると考えている

サテライトオフィス勤務は
働き方の満足度を高くする

59.6%が働く場所に満足しており、
63.1%がサテライトオフィスを含む勤務形態を望む



■「ワークスペース別：テレワークにおける生産性や働く環境に対する満足度の意識調査」

レポートの完全版は以下よりダウンロードができます。

収録内容：ワークスペース別の生産性や満足度、抱える課題や要望に関する詳細データ

<https://www.regus-office.jp/survey/>

調査概要

調査期間：2020年12月25日～2020年12月27日

調査方法：インターネット上で質問項目に選択式で回答

調査対象：地域 首都圏・近畿圏・中部圏

性別 男性・女性

年齢 20～59歳

職業 会社または団体の正規職員

回答数：5,000名

実施された調査によると、2020年12月時点での過去3か月におけるテレワークの導入率は52.7%でした。テレワークのワークプレイスは、在宅勤務のみが78%、在宅勤務とサテライトオフィスが16.1%、サテライトオフィスのみは5.9%であり、サテライトオフィスの導入率は22.0%であることがわかりました。また個人のテレワーク頻度について週3～5日が38.0%、週2日以下は62.0%ということから、テレワークは普及しているもののメインオフィスへ出社する割合の方が高い、ということも明らかになりました。

またワークスペースにおける生産性や満足度については以下のような特徴がみられました。

- メインオフィスよりもテレワーク（在宅勤務・サテライトオフィスを含む）の方が、生産性が高いと感じられている

⇒メインオフィスより在宅勤務の生産性が高いと感じている 33.6%

メインオフィスよりサテライトオフィスの生産性が高いと感じている 41.1%

- サテライトオフィスと在宅勤務では生産性が高いと感じる割合は同程度

⇒より生産性が高くなると感じた勤務形態は、サテライトオフィス：38.1%、在宅：36.7%

- テレワークを実施している約半分のワーカーがサテライトオフィスを活用することで在宅勤務の課題を解決できていると考えている



⇒在宅勤務のみのワーカーの 45.8%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答し、実際にサテライトオフィスが導入されている場合では 49.8%とその傾向が高まる結果に。

● サテライトオフィスは働き方の満足度を高くする

⇒現在の働く場所について「大いに満足している」「おおむね満足している」と回答したのは全体では 45.7%だったのに対し、サテライトオフィスを導入している場合は 59.6%にまで上昇。更に今後もサテライトオフィスを含む勤務形態を望むという回答が 63.1%に達しており、サテライトオフィス利用者が利便性の高さを実感している事を裏付けている。

上記のようにサテライトオフィスと在宅勤務では、生産性が高いと感じる割合に大きな差はみられないものの、在宅勤務における課題解決や働き方の満足度の観点から、サテライトオフィスに寄せられている期待が大きいということが示唆される結果となりました。

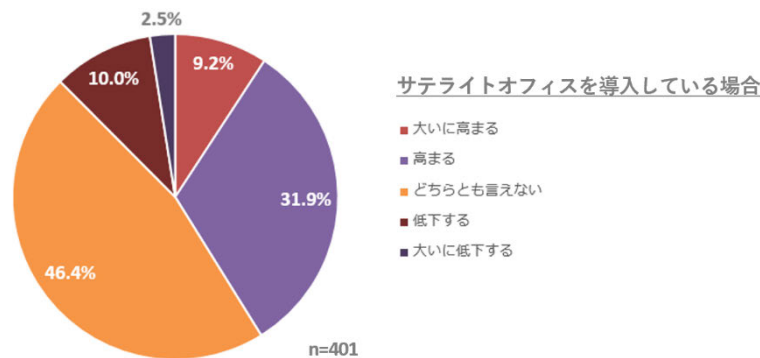
リージャス代表の西岡真吾は次のように述べています。

「首都圏を中心に全国で急速なテレワークの推進が始まってからおよそ 1 年、在宅勤務という働き方の生産性や満足度は一定の評価がされていた一方で、様々な課題も浮き彫りになっていました。その中で本調査の結果については、第 3 のワークプレイスであるサテライトオフィスのポテンシャルを強く裏付けるものになったと確信しています。フレキシブルオフィスのプロバイダーとして、サテライトオフィスをはじめ、これからの働き方に最適なワークスペースを提供していきたいと思います。」

■ データのハイライト

各項目の詳細

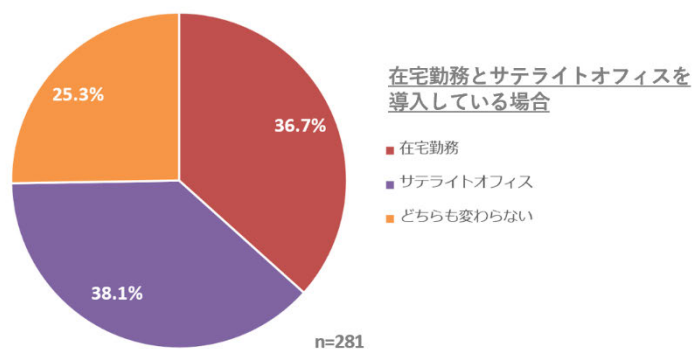
Q: 過去3カ月におけるあなたのサテライトオフィス勤務時の生産性は、メインオフィス勤務時と比較してどう変わりますか？通勤を除く勤務時間中の生産性についてお答えください。



- メインオフィスとサテライトオフィスで生産性を比較した際、生産性が高かった勤務場所の割合は、サテライトオフィス：41.1%、どちらともいえない：46.4%、メインオフィス：12.5%

各項目の詳細

Q: 在宅勤務とサテライトオフィスを比較した時、どちらの方が生産性が高くなると感じますか？

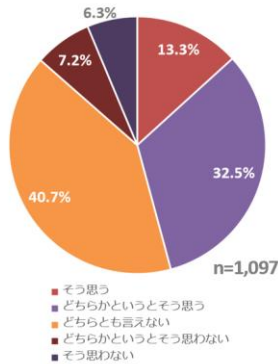


- サテライトオフィスと在宅で生産性を比較した際、生産性が高かった場所の割合は、サテライトオフィス：38.1%、どちらともいえない：25.3%、在宅：36.7%

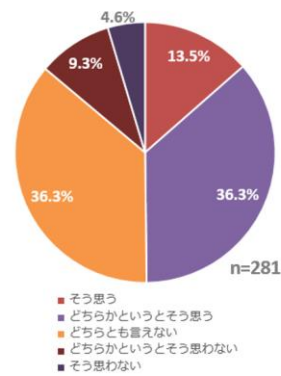
各項目の詳細

Q: サテライトオフィスを活用することで在宅勤務における課題を解決することができますか？

在宅勤務のみを導入している場合



在宅勤務とサテライトオフィスを導入している場合



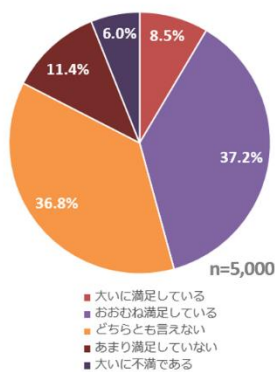
- 在宅勤務のみを導入している場合、在宅勤務の課題をサテライトオフィスの活用で解決できると考える割合は、はい：45.8%、どちらともいえない：40.7%、いいえ：13.5%
- 在宅とサテライトオフィスを導入している場合、在宅勤務の課題をサテライトオフィスの活用で解決できると考える割合は、はい：49.8%、どちらともいえない：36.3%、いいえ：13.9%

17

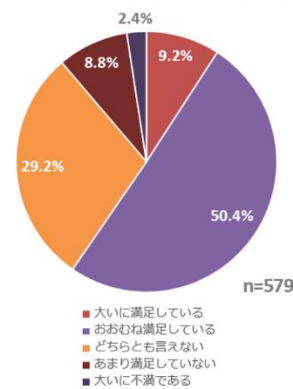
各項目の詳細

Q: 現在の働く場所について、満足していますか？

全体



サテライトオフィスを導入している場合

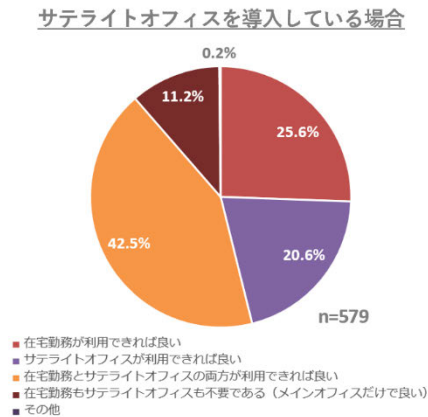
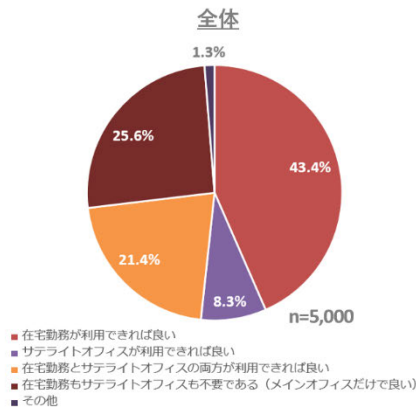


- 働く場所における満足度について、満足している：45.7%、どちらともいえない：36.8%、満足していない：17.4%
- サテライトオフィスを導入している場合の働く場所における満足度について、満足している：59.6%、どちらともいえない：29.2%、満足していない：11.2%

18

各項目の詳細

Q: あなたが望ましいと思う勤務形態を選択ください。



- 望ましいと思う勤務形態の割合は、在宅：43.4%、サテライトオフィス：8.3%、在宅＋サテライトオフィス：21.4%、どちらも不要：25.6%、その他：1.3%
- サテライトオフィスを導入している場合、望ましいと思う勤務形態の割合は、在宅：25.6%、サテライトオフィス：20.6%、在宅＋サテライトオフィス：42.5%、どちらも不要：11.2%、その他：0.2%

19

リージャスについて

リージャスは、全国 44 都市、170 拠点を超えるレンタルオフィス・コワーキングスペースを運営しています。プロフェッショナルな人材や成長企業が新しい発想を生み出すためのコワーキングスペース・レンタルオフィス「SPACES」、高品質なレンタルオフィスのビジネスセンター「リージャス」、コンパクトなビジネスセンター「オープンオフィス」と、それぞれのブランドのレンタルオフィスで多くの皆様に快適なビジネス環境を提供しております。

日本リージャスについては <https://www.regus-office.jp> を参照ください。



【株式会社ティーケーピー会社概要】

代表者	代表取締役社長 河野 貴輝
本社所在地	東京都新宿区市谷八幡町 8 番地 TKP 市ヶ谷ビル 2F
設立	2005 年 8 月 15 日
資本金	120 億円
決算期	2 月
売上高	543 億円(2020 年 2 月期連結)
従業員数	1,416 名(契約社員・時給社員・パートタイマー等臨時雇用者を除く) 2020 年 12 月末現在
事業内容	フレキシブルオフィス事業 (貸会議室・レンタルオフィス・コワーキングスペース運営) ホテル・宿泊研修事業、料飲・バンケット事業、イベントプロデュース事業、 BPO 事業
URL	https://www.tkp.jp/

本件に関するお問い合わせ先

報道関係者：株式会社ティーケーピー 広報担当 TEL：03-6843-0011 MAIL：pr@tkp.jp

[お客様からのお問合せ：リージャスお客様窓口 TEL：0120-974-668](tel:0120-974-668)